

# ロシア 東欧 経済速報

(社) ロシア東欧貿易会

2004年（平成16年）5月25日号 No. 1295

## 目次

|                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| ●ロシアにおける企業幹部の肩書きに関する考察.....D. ヴォロンツォフ | 1 |
| ●キーパーソン .....                         | 7 |
| カザフスタンの閣僚人事／7                         |   |
| ●ロシア東欧貿易会関連の行事予定 .....                | 8 |
| ●CIS・中東欧諸国通貨の為替レート .....              | 8 |

## ロシアにおける企業幹部の肩書きに関する考察

### はじめに

過去10年強、ロシア経済で様々な改革が進むなかで、物事の「呼称」という、一見すると単純に思われるものの分野でも大きな変化が生じている。このことはとりわけ、企業幹部の肩書きについて当てはまる。

この分野では、ソ連時代の遺制もまだ若干残っているが、それとともに、新生ロシアの時代になって取り入れられた新しい方式も見られる。今日でも、新たな形態の企業の登場、そしてロシア語の進化に伴い、常に新しい呼称が誕生している。

最近では、明確な法的規定がないのをおいこと、企業はしばしば、独自の判断で、自分たちの気に入った肩書きを使うようになっている。中小企業のトップが大企業にふさわしいような立派な肩書きをつけているケースも少なくない。

しかも、法律によって規定されている肩書きと、恣意的または言葉の進化の成り行きで使われるようになったものがある。前者には、民法典第103条によって規定されているdirector、general'ny direktor、predsedatel' soveta direktorovがあり（コラム参照）、後者としてはprezidentが挙げられる。なお、企業長の呼び名に関しては、産業部門ごと、地域ごとの傾向性というものとはとくに見受けられない。

以下本稿では、ロシアにおける企業幹部の肩書きに関し、考察を試みる。